

部屋を彩る
インドア
グリーン
その1

観葉植物

物

観葉植物は
一年中室内で楽しめる

価格が手ごろで、管理も楽だと人気上昇中の小ぶりな観葉植物。インテリアとしての使い勝手もよく、鉢カバーや花器との組み合わせしだいでさらに魅力がアップ。洋室でも和室でも合わせられますよ。

燃え上がる
緑の
かがり火が
ごとく

和室のテーブル



飾る前におしゃれな鉢に
着替えさせよう

30～40代を中心に、観葉植物の人気が高まっています。なかでも、キャビネットなど家具の上に飾れる程度の大きさのものが好まれているようです。かつては、冬の最低温度によって植物の選択が左右されました。現在では住宅の気密性が高くなつて最低温度が上昇したため、ほとんどの植物が問題なく冬越しできます。最近は猛暑が長期化し、逆に夏のほうが人間にも植物にも厳しくなつていますが、室内ならエアコンが効いて管理や作業が楽です。こうしたことから観葉植物の人気が高まっている理由だと思われます。

家具の上に置いて楽しむ

家具の上に置いて
楽しむ観葉植物

放送

再放送

再放送

6/10
(日)6/12
(火)6/14
(木)

葉のシンプルな
ラインに
花器で変化を

リビングのテレビ台



ストレリチア・ ユンケア

先端に小さな葉をつけた長い葉柄のラインが美しい品種。らせん状のユニークな花器に入れました。横に広がらない草姿なので、テレビのわきでも視聴の妨げになりません。日当たりを好むので、直射日光の当たる窓の近くに置きました。

洗面所



ヒメモンステラ (左)と ガジュマル(右)

自然光の入る明るい洗面所。衛生的なハイドロカルチャー*で栽培しています。ヒメモンステラはややつる状に伸び、ガジュマルはゆっくり成長します。

*ハイドロカルチャー…穴のない容器を用いて、発泡錠石と水で育てる栽培方法。土を使わないで衛生的。

無機質な空間に
スリムなガラス器で
違和感なく



観葉植物の
魅力を再確認
してください。

アスプレニウム・ ニダス・ プリカツム

最近注目のシダ植物の仲間を、やわらかな間接光の入る和室の座卓に置いてみました。床の間の花と呼応するように、存在感のある草姿に薄板で編んだかごを模した金属製鉢カバーを合わせました。



「器は料理の着物」とは北大路魯山人きたおおじ ろさんじんが残した有名な言葉ですが、「鉢は植物の着物」です。市販の観葉植物は生産していたときの鉢のままの場合が多いので、自宅に迎えた観葉植物は部屋のデザインに合わせておしゃれな鉢に着替えさせてあげましょう。

キッチンのシンクわき

清潔感のある
ピュアホワイトの
ミニ鉢を
寄せて

ヒメモンステラ
(左)と
ディフェンバキア
'アンナ' (右)

ハイドロカルチャー^{*}のミニ鉢を2鉢寄せています。清潔感のある白色の鉢の中央にある穴、ヒメモンステラの葉の切れ込み、ディフェンバキアの白斑が「軽やかさ」を演出しています。

ドラセナ 'トルネード'

株を直上から見ると葉が台風の目のように規則的に回転しています。成長がゆっくりした品種です。縦長の花器を、中に「おとし」を入れて高さを調整して、鉢カバーとして使ってみました。

*おとし……鉢内に入れる小さな花器のこと。外から見えない鉢の場合は、空き缶や空きビンなどで代用も可能。

遊び心満点!
花器と植物との
組み合わせの
妙

和室の座卓の上

玄関のげた箱



かずら模様の
かごとつるが
織りなす
浮遊感



ヒメモンステラ (ラフィドフォラ・ テトラスペルマ)

つる状の茎が少し伸びた株を、金属製の花かご風の鉢カバーに。生産に使用されたプラスチックの鉢と同系色なので、中が見えても違和感がありません。

鉢カバーで ドレスアップ

鉢カバーは、植物の生育を一番に考える鉢と違い、素材やデザインが自由なので種類が豊富です。花器や食器も鉢カバーとして使えます。植物や部屋に合わせて選んでください。鉢カバーを使用する際のポイントを以下に示します。

●底穴がないので、直接植え込むことはできない。

●植えられている鉢より口径と高さが大きいものを選ぶ。鉢カバーより中の鉢が高いと特に不格好。

●腰高(縦長)のものを使う場合、植物が重いと転倒しやすいので注意。

●鉢土を見た目よいトッピング素材で隠す。ヤシ繊維やインテリアパークなどは用土の乾き具合が確認しやすいのでおすすめ。

リビングのテーブル



斑入り葉と
シンプルな白い花器の
さわやかな
組み合わせ



シェフレラ “ソフィア”

枝がやや横に広がるので、浅く大きめの花器を鉢カバーにして入れてみました。鉢と鉢カバーのすき間や鉢土を隠すためにヤシの繊維を使っています。

家具を傷つけない 対策を!

陶製や金属製などの鉢カバーや受け皿は、直接置くと家具を傷つけてしまうことがあります。底にゴムやシリコンのクッション材を貼りつけたり、厚手のビニールシートなどを敷くと安心です。滑り止めにもなります。



シリコンのクッション材(中央下)は、はくり紙からはがして受け皿などの底に3か所貼りつける(左上)。ビニールシート(右)は鉢カバーなどの大きさに合わせて切って用いる。

最も大事な管理 水やりのポイント

鉢を受け皿に置いて管理している場合は、深めのプラスチックの受け皿などに移してたっぷり水やりし、鉢底から水が出なくなったら戻すようにします。小さな受け皿で水があふれるのを心配しながら水やりすると、少量しか与えられず水不足になりやすいものです。鉢カバーを使用している場合は、中から鉢を取り出して同様に水やりします。

ワーキングテーブルの上

シンプルな鉢カバーで
葉の模様を
引き立てる



ドラセナ
'レモン
サプライズ'

黄色と緑色の間に白のラインが入るおしゃれなドラセナです。この品種は樹高10cm程度から150cmくらいの大鉢まで生産されています。成長がゆっくりなので株姿が乱れにくい品種です。



唐草模様のようなフォルムの透明な支柱。

長期間、室内で管理していると、観葉植物の姿はどうしても乱れてしまいます。ひどく乱れてしまったら切り戻しや植え替えなどが必要で、6月は最適期です。葉が乱れた程度なら支柱に誘引して整えるとよいでしょう。緑色などの目立たない支柱を使うことが多いですが、逆におしゃれな支柱を使って目立たせるのもおもしろいですよ。

乱れた姿を整える



4

葉が立ち上がり整った姿に。
派手な支柱も
意外にしつくりくる。



3

支柱を鉢土にさして立て、
渦巻き状の部分に
葉柄を通して支える。



2

黄色くなった葉は
つけ根から切除し、
枯れた苞葉は取り除く。



1

葉柄が伸びて、
だらしなく広がってしまった
フィロデンドロン・セローム。

「観葉植物」

House Plant

2018年6月号

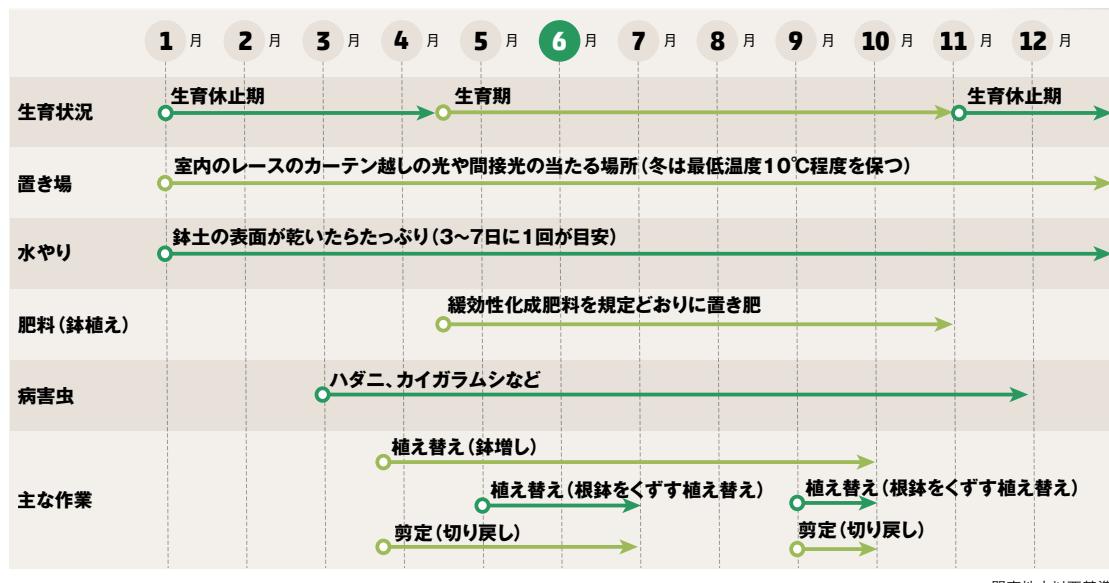
管理のコツ



基本データ

- ・科名・属名
- 種類による
- ・形態
- 常緑低木～高木、常緑草本、つる植物
- ・原産地
- 熱帯～温帯
- ・草丈／樹高
- 種類による
- ・価格帯
- 種類、大きさにより
200～3,000円
程度

カレンダー



講師／小笠原 誓

北国の主な管理・作業



① 北海道地方

冬に徒長してしまったものは、春から夏にかけて十分に日光に当てる。戸外に出す場合は、徐々に日ざしに慣らす。傷んだ葉は適宜取り除く。秋に室内に取り込んで冬越し。

(北海道大学・星野洋一郎)

② 東北地方(太平洋側)

この時期、午前中は戸外に出して日光に当てる。一度に強い日ざしを当てると葉焼けするので、加減をしながら行う。水やりは鉢土の表面が乾いてから十分に与える。

(園芸研究家・阿部文雄)

③ 東北地方(日本海側)

年間を通して、よく日の当たる窓辺に置いて管理する。強い日ざしで葉焼けする種類は、レースのカーテン越しの日ざしを当てる。水は土の表面が乾いてからたっぷりと与える。

(園芸研究家・佐々木秋彦)